平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月25日

上場会社名　株式会社 ネットプライスドットコム　　上場取引所　東
コード番号　3328　URL　http://www.netprice.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長兼グループCEO　(氏名) 佐藤　輝英
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼グループCFO　(氏名) 中村　浩二　TEL 03-5739-3350

四半期報告書提出予定日　平成25年5月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	5,322	0.3	76	―	56	―	△24	―
24年9月期第2四半期	5,306	△9.8	△196	―	△132	―	△192	―

(注) 包括利益　25年9月期第2四半期　118百万円　(―%)　24年9月期第2四半期　△170百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	△215.17	―
24年9月期第2四半期	△1,729.37	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第2四半期	6,141	3,941	62.8	34,573.11
24年9月期	6,024	3,857	62.4	33,756.49

(参考) 自己資本　25年9月期第2四半期　3,858百万円　24年9月期　3,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	―	0.00	―	0.00	―
25年9月期	―	0.00			
25年9月期(予想)			―	―	―

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
(注) 25年9月期の配当予想額につきましては、未定であります。

3. 平成25年 9月期の連結業績予想(平成24年10月 1日～平成25年 9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	7,822～8,022	1.3～3.9	△53～6	―	△68～△8	―	△146～△86	―	△1,308.48～△770.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

通期の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く事業環境の変化が早く、また当社が展開する事業が多岐にわたっているため、通期の業績予想について信頼性の高い数値を算出することは、極めて困難であると考えております。
そのため、当期より、四半期ごとに行っている業績発表に併せて翌四半期の業績見通しを公表いたします。
なお、実際の業績が、公表された業績予想の範囲に対し大きく異なる可能性がありますが、その場合には、速やかに業績予想の修正を公表することといたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	： 無
② ①以外の会計方針の変更	： 無
③ 会計上の見積りの変更	： 無
④ 修正再表示	： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年9月期2Q	113,066 株	24年9月期	113,066 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	1,466 株	24年9月期	1,742 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年9月期2Q	111,570 株	24年9月期2Q	111,127 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（６）セグメント情報等 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、Ｅコマース事業においては、①ギャザリング部門の事業転換後の再成長②バリューサイクル部門の買取・販売バランスのコントロール③クロスボーダー部門の対象地域の拡大と集客強化、インキュベーション事業においては、既存事業の成長加速と新規事業の立ち上げに注力してまいりました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は5,322,337千円（前年同期比0.3%増）、営業利益は76,482千円（前年同期は営業損失196,684千円）、為替の円安基調による為替差損や持分法投資損失による営業外損失の計上により、経常利益は56,338千円（前年同期は経常損失132,268千円）となりました。四半期純損失は、連結納税対象外子会社による法人税等の計上により24,006千円（前年同期は四半期純損失192,180千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①Ｅコマース事業

ギャザリング部門におきましては、前年度から注力してきたお客様への価値創造（価値提案）と絆づくりを基盤として、価値訴求と価格訴求のバランスを図ることにより、併売個数やリピート率を向上させてまいりました。特にお客様の声を取り入れたオリジナル商品の開発や、定期購入等の顧客定着を図る販売手法の導入と商品バランスの見直しにより、前年同期に比べ粗利益率が向上いたしました。また、新規提携先の増加による集客力の強化、スマートフォンによる購買施策なども積極的に進めてまいりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は2,472,623千円（前年同期比25.3%減）、営業利益は18,327千円（前年同期は営業損失161,759千円）となりました。

バリューサイクル部門におきましては、販売チャネルの多様化とアライアンスの拡大により、買取・販売件数ともに順調に増加いたしました。また、販売先のオークションサイト選択の最適化とオペレーションの効率化により、収益力の向上を図りました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は2,205,433千円（前年同期比48.5%増）、営業利益は163,596千円（前年同期は営業損失94,157千円）となりました。

クロスボーダー部門におきましては、為替が円安基調に転じ購入率が伸び悩んだものの、ＳＥＯを軸とした集客基盤の強化により会員数は順調に拡大し、売上高は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。また、当第２四半期会計期間において、アメリカ、英国に続いて、ドイツの商品の取り扱いを開始し、対象地域を拡大することによる商品力の強化と商品数の拡大を図るとともに、人員の増強と多地域・多通貨対応のオペレーションの構築に向けた投資を行ってまいりました。今後は、スマートフォン等による集客力の強化や、販売サイトの最適化、対象地域の更なる拡大による商品数の拡大により、購入率の伸びを実現し、事業基盤の強化を進めてまいります。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は363,944千円（前年同期比4.7%減）、営業利益36,958千円（前年同期比63.8%減）となりました。

Ｅコマース事業全体では、当第２四半期連結累計期間における売上高は5,042,000千円（前年同期比2.7%減）、営業利益は218,882千円（前年同期は営業損失153,883千円）となりました。

②インキュベーション事業

インキュベーション事業におきましては、海外居住者向けの商品転送サービス「tenso.com」は、引き続き、新規会員数、利用件数が順調に増加しており、売上、利益ともに順調に成長しました。また、同社では、既存の商品転送サービスに加え、昨年末にプレリリースした海外居住者向け代理購入サービスも好調に推移しており、現在本格リリースの準備をしております。また、その一方で、スマートフォン向けのコンテンツサービスを行うフォーリー株式会社を新設するなど、グループ内のスマートフォン事業の強化も進めております。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は291,275千円（前年同期比124.7%増）、営業損失は、サービス開始前の新設会社の先行投資により、15,543千円（前年同期は営業損失3,972千円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

（ⅰ）資産

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ116,818千円増加し、6,141,144千円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が4,423,913千円となり、前連結会計年度末と比べ133,984千円の減少となりました。その主な要因は、増加要因としては、現金及び預金48,105千円、受取手形及び売掛金58,789千円の増加であり、減少要因としては、流動資産その他に含まれております未収入金109,136千円、未収法人税等111,462千円の減少であります。

また、固定資産合計は、1,717,230千円となり、前連結会計年度末と比べ250,803千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、無形固定資産その他に含まれておりますソフトウェア103,887千円、投資有価証券163,621千円の増加であり、減少要因としては、関係会社株式41,370千円の減少であります。

（ⅱ）負債

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は2,199,731千円となり、前連結会計年度末と比べ33,188千円の増加となりました。

内訳といたしましては、流動負債合計が1,976,876千円となり、前連結会計年度と比べ50,227千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、短期借入金58,644千円、未払法人税等62,000千円、流動負債その他に含まれております未払金60,523千円の増加であり、減少要因としては、流動負債その他に含まれております預り金133,145千円の減少であります。

また、固定負債合計は、222,854千円となり、前連結会計年度と比べ17,039千円の減少となりました。その主な要因は、増加要因としては、繰延税金負債11,364千円の増加であり、減少要因としては、長期借入金30,000千円の減少であります。

（ⅲ）純資産

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は3,941,412千円となり、前連結会計年度末と比べ83,630千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、為替換算調整勘定91,661千円、その他有価証券評価差額金34,238千円の増加であり、減少要因としては、利益剰余金26,888千円、少数株主持分10,433千円の減少であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ148,105千円増加し、3,108,869千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において営業活動による資金の増加は、278,261千円となりました。その主な増加要因は、法人税等の還付金138,262千円、税金等調整前当期純利益72,033千円、減価償却費57,248千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は、208,659千円となりました。その主な要因は、増加要因としては、定期預金の払戻による収入100,000千円であり、減少要因としては、投資有価証券の取得による支出128,622千円、無形固定資産の取得による支出132,014千円、子会社株式の取得による支出61,000千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において財務活動による資金の減少は、36,860千円となりました。その主な減少要因は、長期借入金の返済による支出38,300千円であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く事業環境の変化が早く、また当社が展開する事業が多岐にわたっているため、通期の業績予想について信頼性の高い数値を算出することは、極めて困難であると考えております。そのため、当期より、四半期ごとに行っている業績発表に併せて翌四半期の業績見通しを公表いたします。なお、実際の業績が、公表された業績予想の範囲に対し大きく異なる可能性がありますが、その場合には、速やかに業績予想の修正を公表することといたします。

2．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年９月30日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,060,763	3,108,869
受取手形及び売掛金	545,558	604,348
有価証券	5,849	16,495
商品	380,082	372,026
繰延税金資産	8,579	6,549
その他	558,496	316,988
貸倒引当金	△1,432	△1,363
流動資産合計	4,557,897	4,423,913
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	208,790	211,928
減価償却累計額	△108,241	△127,987
建物及び構築物（純額）	100,549	83,941
工具、器具及び備品	266,804	290,560
減価償却累計額	△232,417	△246,978
工具、器具及び備品（純額）	34,386	43,581
有形固定資産合計	134,935	127,522
無形固定資産		
のれん	203,268	210,055
その他	98,868	202,755
無形固定資産合計	302,136	412,811
投資その他の資産		
投資有価証券	591,257	754,878
関係会社株式	60,298	18,928
繰延税金資産	16,399	16,271
その他	361,399	386,818
投資その他の資産合計	1,029,355	1,176,896
固定資産合計	1,466,427	1,717,230
資産合計	6,024,325	6,141,144

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年９月30日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年３月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	401,801	430,797
短期借入金	680,440	739,084
1年内返済予定の長期借入金	76,800	68,500
未払法人税等	23,386	85,386
ポイント引当金	11,863	16,151
その他	732,357	636,958
流動負債合計	1,926,649	1,976,876
固定負債		
長期借入金	150,000	120,000
繰延税金負債	10,768	22,132
資産除去債務	75,695	77,857
その他	3,429	2,865
固定負債合計	239,893	222,854
負債合計	2,166,543	2,199,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331,417	2,331,417
資本剰余金	2,134,596	2,122,353
利益剰余金	△464,541	△491,429
自己株式	△222,637	△208,954
株主資本合計	3,778,835	3,753,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,463	19,775
為替換算調整勘定	△6,464	85,196
その他の包括利益累計額合計	△20,928	104,971
新株予約権	37,559	31,172
少数株主持分	62,315	51,881
純資産合計	3,857,782	3,941,412
負債純資産合計	6,024,325	6,141,144

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日)
売上高	5,306,662	5,322,337
売上原価	3,011,081	2,821,177
売上総利益	2,295,580	2,501,160
販売費及び一般管理費	2,492,265	2,424,678
営業利益又は営業損失（△）	△196,684	76,482
営業外収益		
受取利息	567	364
為替差益	30,624	―
投資有価証券売却益	69,729	3,002
投資事業組合運用益	―	6,738
その他	11,319	13,009
営業外収益合計	112,240	23,115
営業外費用		
支払利息	6,734	5,865
為替差損	―	15,962
投資有価証券評価損	24,999	534
持分法による投資損失	7,670	19,573
その他	8,420	1,323
営業外費用合計	47,824	43,258
経常利益又は経常損失（△）	△132,268	56,338
特別利益		
関係会社株式売却益	―	8,276
新株予約権戻入益	―	7,417
特別利益合計	―	15,694
特別損失		
特別退職金	29,621	―
固定資産売却損	4,392	―
特別損失合計	34,013	―
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△166,282	72,033
法人税、住民税及び事業税	30,623	76,710
法人税等調整額	△23,170	3,159
法人税等合計	7,452	79,869
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△173,734	△7,835
少数株主利益	18,445	16,170
四半期純損失（△）	△192,180	△24,006

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△173,734	△7,835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,615	34,238
為替換算調整勘定	△7,615	91,661
持分法適用会社に対する持分相当額	3,343	840
その他の包括利益合計	3,342	126,740
四半期包括利益	△170,392	118,904
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△187,711	102,734
少数株主に係る四半期包括利益	17,318	16,170

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△166,282	72,033
減価償却費	62,100	57,248
のれん償却額	23,960	27,609
株式報酬費用	8,690	1,029
貸倒引当金の増減額（△は減少）	386	△329
ポイント引当金の増減額（△は減少）	5,283	4,287
受取利息及び受取配当金	△602	△384
支払利息及び社債利息	6,734	5,865
為替差損益（△は益）	△14,815	△396
持分法による投資損益（△は益）	7,670	19,573
投資事業組合運用損益（△は益）	―	△6,738
投資有価証券評価損益（△は益）	24,999	534
投資有価証券売却損益（△は益）	△69,729	△3,002
関係会社株式売却損益（△は益）	―	△8,276
新株予約権戻入益	―	△7,417
固定資産売却損益（△は益）	4,392	―
売上債権の増減額（△は増加）	△119,610	△72,565
たな卸資産の増減額（△は増加）	△58,480	9,447
仕入債務の増減額（△は減少）	7,630	28,995
未払金の増減額（△は減少）	△12,298	62,398
未払消費税等の増減額（△は減少）	△12,055	4,293
その他	7,432	△18,864
小計	△294,590	175,338
利息及び配当金の受取額	530	294
利息の支払額	△4,529	△5,541
法人税等の支払額	△68,254	△30,092
法人税等の還付額	―	138,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	△366,843	278,261
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	―	100,000
有形固定資産の取得による支出	△22,936	△13,981
有形固定資産の売却による収入	309	―
無形固定資産の取得による支出	△40,689	△132,014
投資有価証券の取得による支出	△47,281	△128,622
投資有価証券の売却による収入	78,384	1,829
投資事業組合からの分配金による収入	8,593	24,398
敷金及び保証金の差入による支出	△45	△14,267
敷金及び保証金の回収による収入	170,901	―
貸付けによる支出	△14,088	―
貸付金の回収による収入	6,499	―
子会社株式の取得による支出	―	△61,000
関係会社株式の売却による収入	―	14,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	139,648	△208,659

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	390,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△400,000	△300,000
長期借入れによる収入	40,000	―
長期借入金の返済による支出	△171,500	△38,300
ストックオプションの行使による収入	3,300	1,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,199	△36,860
現金及び現金同等物に係る換算差額	50,297	115,364
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△315,098	148,105
現金及び現金同等物の期首残高	4,074,822	2,960,763
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,759,723	3,108,869

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成23年10月１日 至 平成24年３月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	Eコマース事業				インキュベーション事業	合計		
	ギャザリング部門	バリューサイクル部門	クロスボーダー部門	小計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,310,719	1,485,264	382,072	5,178,056	128,606	5,306,662	―	5,306,662
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,010	―	―	1,010	1,004	2,015	△2,015	―
計	3,311,729	1,485,264	382,072	5,179,067	129,610	5,308,678	△2,015	5,306,662
セグメント利益又は損失（△）	△161,759	△94,157	102,033	△153,883	△3,972	△157,856	△38,828	△196,684

（注）１．セグメント利益の調整額△38,828千円には、セグメント間取引の消去△255千円、各報告セグメントに配分していない全社収益296,243千円及び全社費用△334,817千円が含まれております。全社収益は、主にグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自　平成24年10月１日　至　平成25年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	Eコマース事業			小計	インキュベーション事業	合計		
	ギャザリング部門	バリューサイクル部門	クロスボーダー部門					
売上高								
外部顧客への売上高	2,467,422	2,205,433	363,944	5,036,799	285,537	5,322,337	―	5,322,337
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,200	―	―	5,200	5,737	10,937	△10,937	―
計	2,472,623	2,205,433	363,944	5,042,000	291,275	5,333,275	△10,937	5,322,337
セグメント利益又は損失（△）	18,327	163,596	36,958	218,882	△15,543	203,338	△126,856	76,482

（注）１．セグメント利益の調整額△126,856千円には、セグメント間取引の消去5,824千円、各報告セグメントに配分していない全社収益120,656千円及び全社費用△253,338千円が含まれております。全社収益は、主にグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。